

平成22年度教育委員会事務点検評価(平成21年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

		整理番号	26
事務事業の名称	校舎等改修事業	担当部課	教育委員会 生涯学習部 教育総務課
		電話番号	04-2953-1111 内線5636
実施期間	平成14年度 ~		
総合振興計画における位置づけ	5章 人を育み文化を創造するまちをめざして	実施計画(H21~23)事業名	校舎等改修事業
	2節 次世代教育の充実		
	2項 教育環境の充実	個別計画等の名称	
	2目 教育施設の充実		
実施根拠			
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務+自治事務		
事業開始の背景等	経年劣化により学校施設の老朽化が進む中で、校舎・体育館で雨漏れが生じ、早急な改修が必要となっている。また消防用設備についても、緊急時に正常に設備が作動するようにする。		

2 事務事業の目的・内容

目的	校舎屋上防水、体育館屋根及び消防用設備の改修により、防水機器の改善を図る。		
対象	小中学校の校舎及び体育館		
活動内容	平成21年度においては、校舎の屋上防水工事を小学校1校、また消防用設備(防火シャッター・防火ダンパー・自動火災報知設備等)の改修工事を小学校1校、中学校1校を実施した。		
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)	校舎屋上防水、体育館屋根改修及び消防用設備の改修を計画し実施していく。	
	継続		
環境配慮	環境負荷低減効果のある資機材の使用を図る。		
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他()		

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	目標値の根拠・考え方	
(活動状況指標)	体育館屋根改修実施学校数	目標値	校	4	2	1	1	体育館屋根改修を毎年行う。	
		実績値		4	2	1			
		達成率		100.0%	100.0%	100.0%			
	消防用設備(防火シャッター)改修実施校	目標値	校	3	4	2	1		消防用設備改修は、防火シャッター設置校に安全装置を取り付ける。
		実績値		3	4	2			
		達成率		100.0%	100.0%	100.0%			
(成果指標)		目標値							
		実績値							
		達成率							
		目標値							
		実績値							
		達成率							

4 事業費

		区分	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	
経費	直接費	予算額	千円	57,000	57,000	26,880	15,440	
		決算額	千円	37,653	45,129	16,537		
		財源内訳	国県支出金	千円	0	0	0	
			その他特定財源	千円	0	0	0	
	一般財源		千円	37,653	45,129	16,537		
	人件費	従事職員数	人	0.80	0.47	0.50		
		人件費(従事職員数×平均給与)	千円	7,171	4,312	4,598		
		事業費計(直接費決算額+人件費)	千円	44,824	49,441	21,135		
効率性指標	指標名						1単位当たりの経費	
	単位コスト							

5 事務事業の評価

第一次評価(担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
必要性	目的の妥当性 市民ニーズへの対応 市が関与する必要性 市が負担する必要性 など	5	経年劣化により学校施設の老朽化が進む中で、校舎・体育館に雨漏れ等の不具合が生じ、早急な改修が必要となっている。また、消防用設備等においても緊急時に設備が正常に作動するよう改修が必要となっている。
		4	
有効性	活動目標の達成度 成果の向上 上位施策への貢献度 市民サービスの向上 など	4	体育館屋根の改修は、平成21年度末において、カバー工法による改修と併せて小学校11校、中学校4校が完了している。消防用設備の改修は平成21年度末において、10校が完了している。
		4	
効率性	手段の最適性 コスト効率の向上 受益者負担の適正化 執行体制の効率化 など	4	体育館屋根の改修は、平成19年度からカバー工法に代えてウレタン防水による方法に切り替え、経費の節減が図られた。
		4	
		<5段階評価> 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了			
今後の方向性	校舎屋上防水、体育館屋根改修及び消防用設備の改修を計画的に実施していく。		

6 その他(学識経験者の意見等)

必要な事業である。
